

G-3 生涯教育における家政学・家庭科教育の開発 (オ3報)
日本家庭科教育方法研究会 ○松田茂美子

目的 高度な科学文明に支えられた物質文明のもつ価値転換が 宇宙時代の到来と
呼ばれる今日 宇宙空間の中に存在する地球文明の夜明けかはいまろうとしている。
過日 アジアユネスコクラブ連盟の発足の東京において設立された。このことを契機
として 家政学は 従来の家庭・地域社会・国家から、アジア地域における日本の指
導性を問われる時機に 各分野においてきていていると考える。生涯教育をこの原点か
ら今後具体的な方策を進める必要がある。

方法 快適な人間の生活を発展するために 過去20年生涯教育を進めるための
基礎概念として ヒューマン・エロロジー・ ヒューマン・エルゴロジー・ 個性化教育
の開発を 家庭科教育方法において実験し 実践した。その結果従来の授業システム
の欠陥と 今後の方向性を得た。とくに今後のひとつの強力な手法として Barke
グラント・ヒューマン・エロロジーとして映画のトータル性の活用が活用されたため(実験の結果)
自主制作(2々) ヒューマン・エロロジーシリーズとして No.1 窓 No.2 一杯のお茶
No.3 グローバル・ファミリー・アジアユネスコ連盟 誕生・記録映画 オールファミリー
システムによる授業創造などがある。

結果 家政学は生涯教育を進めるにあって、自主創造的な開発プログラムと
他領域との提携プロジェクトの開発により、家政学本来のトータル的人格を培う人
類学から、グローバル・ファミリーとしての意識の養成、連帯の中で今後の家政
学・家庭科教育への必要性の認識を具体的な方策で進めている。